

音の新たな表現にチャレンジする、実験的なパフォーマンス・ライブ!

出演者
募集!

公演日時

2022年2月27日

公演会場 (日) 14:00

愛知県芸術劇場 小ホール
(愛知芸術文化センター地下1階)

ミニセ

今回の
テーマ

音と動きを解放する

主催: 愛知県芸術劇場

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) |
独立行政法人日本芸術文化振興会

文部科学省

「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム」は「AACサウンドパフォーマンス道場」(2006-14)を前身に2015年からスタートし今回が6回目の開催となります。「サウンドパフォーマンス」という視点から、通常のコンサートなどではこぼれ落ちてしまうような音楽作品から、言葉や音が重要な要素となるパフォーマンス作品まで、未発掘のアーティストの様々なチャレンジを応援するプラットフォーム公演です。ゲストアーティスト含め、これまで47組の多様なサウンドパフォーマンスを紹介してきました。2022年の公演に出演していただくパフォーマーを募集します。

これまでのサウンドパフォーマンス・プラットフォーム ゲストアーティストと公募出演者 ★ゲスト

2015



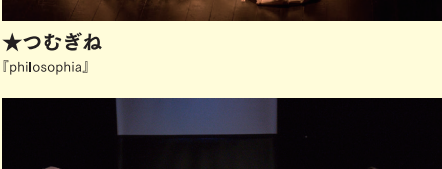
★contact Gonzo
『訓練されていない素人のための振付コンセプト 001/
重さと動きについての習作』



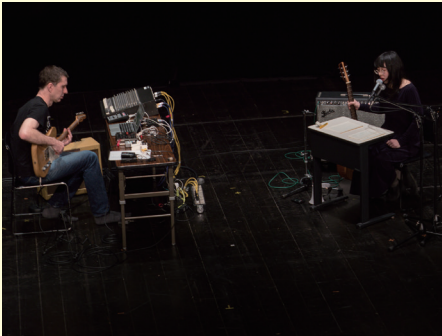
井藤雄一
『fmiDms』



今村達紀
『関節話法』



★フォルマント兄弟 with 岡野勇仁
Neo 演歌「夢のワルツ」～フォルマント兄弟の「声をめぐる考察」
～G・B・ベルゴレージ作曲「スタバト・マーテル」ピアノ伴奏版



★クリストフ・シャルル&柴田聡子
『Premières pensées』



S C S C S
『ら せんかい てんてん』



藤田将弥
『It's Automatic』



真都山みどり (エムエム研究室)
『野生の森～即興ピクニック vol.2』



野老真吾
『大きい楽器による小さい音のための
[私を寝かせてください]』

2016



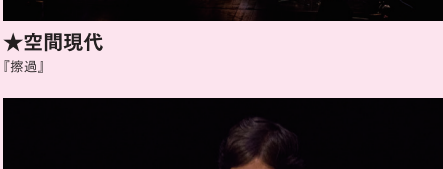
★伊東篤宏
『OPTRON Live : Feb 2016』



Mad Tapes Erase Group
『時間軸の伸縮と音の分裂』



njp (きょうと)
『プレステージ #03』



★Sachiko M
『Sachiko M : sinewave solo』



★振子びじん
『Purgative Rhythm Mix』



Kaseo
『ファミトロン』



堀尾寛太
『Microphones』



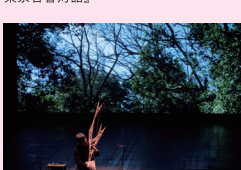
米子匡司
『peer』



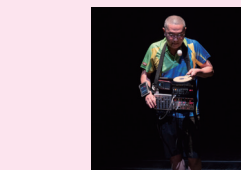
堀尾寛太
『Microphones』



清水卓也
『Polymorphism』



山本和智
『Play-RePlay-Meta-Play』



山本雅史
『4 PINGPONGS』

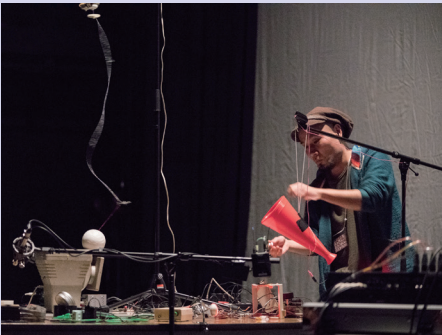
2018



★荒木優光
『増幅する部屋』



★サンガツ+雨森良地 (Nu flair)
『If you were a bagworm』



★堀尾寛太
『Microphones』



★米子匡司
『peer』



Aoi
『声のないうた』



いまいけぶろじょくと
『身体奏法 /Stick』(岩淵貞太作曲)



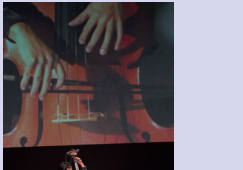
おおしまたくろう
『PLAY A DAY』



世紀マ3
『拝啓、高架下より』



世紀マ3
『拝啓、高架下より』



山本和智
『Play-RePlay-Meta-Play』

2019



★夏の大△
『The Great △』



★藤田陽介
『NOISEEM - SPP2019 ver. 』



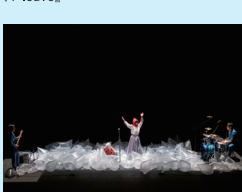
★電力音楽
『電力音楽演奏会 0211 〈冬〉』



★Hair Stylistics (a.k.a. 中原昌也)
no title ~Live:Hair Stylistics~



Affine (ささきしおり)
feat. 宮本貴史
『7 leave』



doobby/ 仮説
『チョウシ之助』



Signal compose
『visible/hidden/re-visible』



大久保雅基
『sd.mod.live』



大所帯非楽器アンサンブル
POLY!
『パノラマ並奏曲』



杉野晋平
『バイルドライバー』

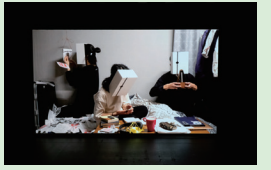
2020



★ミニスキュル・シングス(立川貴一+吉田アミ)と大谷能生
『サマースプリング』愛知県芸術劇場版



★正直
『養生テープを「再生」する』



みあいっこ 『布団』



CORONA 『デウォ・ルチ』



日々《変容の対象》アンサンブル
『日々《変容の対象》8月』

募集要項概略

1) 募集するパフォーマンス

- ・音が作品の重要な要素であること。
- ・「人間の身体」が登場する、いわゆるパフォーマンスであること
(インスタレーションのみは不可)。

上記2つを満たせば応募可能とします。

今回のテーマ | 音と動きを解放する

音とパフォーマンスが“どのように自由に”関係を持って一つの表現となるのか、サウンドパフォーマンスの原点に立ち戻って問い直した、実験的なパフォーマンス。

2) 会場

愛知県芸術劇場小ホール

3) 応募方法 (メール)

① エントリーシート

② 作品内容が分かる企画書

(A4用紙2枚程度)

③ 作品内容が分かる映像資料のURL

(YouTube等にアップロード。合計30分以内。複数可。)

■詳しい応募方法・注意事項は劇場ウェブサイトの募集要項(全文)を必ずご確認ください。

■募集要項、
エントリーシートは
こちらから →



※お預かりした個人情報は、愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)にて厳重に管理し、本事業を運営する以外の目的では使用しません。

応募
締切

10月1日
(金)必着

公演までのスケジュール

2021年11月上旬

審査結果をメールで通知

↓ 2022年1月15日(土)もしくは16日(日)

会場の下見・打ち合わせ

↓ 2022年2月25日(金)もしくは26日(土)

リハーサル

↓ 2022年2月27日(日)

14:00~公演

審査員



新見永治(パルル/のわ)

名古屋市中区のカフェ兼イベントスペース「パルル」のオーナー。2011-12年創設から関わった名古屋市長者町のアートセンター「アートラボあいち」の運営に携わる。あいちトリエンナーレ2013へ「プロジェクトFUKUSHIMA!」の一員として参加。



野口順哉(外/空間現代)

早稲田大学教育学部卒。2006年、在学中にバンド「空間現代」を結成。ギターボーカルとして作曲に携わる他、作詞も行。09年にレーベルHEADZより1stアルバムをリリースして以降、精力的なライブ活動を続ける。16年からは活動拠点を京都に移し、空間現代のスタジオ兼ライブハウス「外」をオープン。



森田太朗(K.D japon)

名古屋市中区のイベントスペース「K.D japon」のオーナー。アトリエだった店を受け継ぎ、16年間にわたり創造の空間を運営。また、自身が参加するメディア・ダンスパフォーマンス・ユニットholonやソロの舞踏家として表現活動を行う。



藤井明子(愛知県芸術劇場)

1992年愛知県芸術文化センター開館から音楽の学芸員として勤務。ジャンルに捉われない活動を行うミュージシャンや作曲家に注目して音楽公演を企画・制作。「AACサウンドパフォーマンス道場プロジェクト」(2006~14)企画・選考委員、あいちトリエンナーレ2010~16のパフォーミングアーツのキュレーター、国際芸術祭あいち2022パフォーミングアーツ・アドバイザー。

主催・お問合せ

愛知県芸術劇場 TEL 052-971-5609(10:00~18:00) FAX 052-971-5541

Email: ws26@aaf.or.jp <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>